

肥料が植物の生育に害を及ぼさないか幼植物試験によって確認します。

試験手順

肥料及び土壌の調製と施肥設計

土を一定の状態にします。
肥料の施肥量を計算します。



肥料の施用と作物のは種

土と肥料をよく混合し、ポットに充てんします。
栽培作物は、原則としてこまつなです。
1容器あたり20粒または25粒種を蒔きます。



は種の様子

栽培

こまつなを使います



人工気象装置の中で約3週間栽培します。

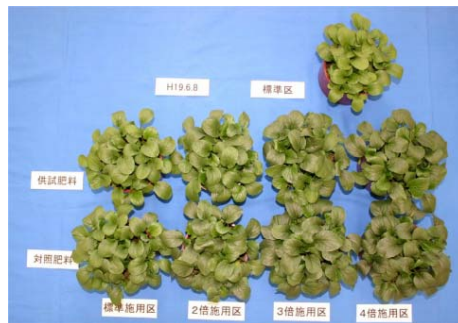


～いろいろ調べます～

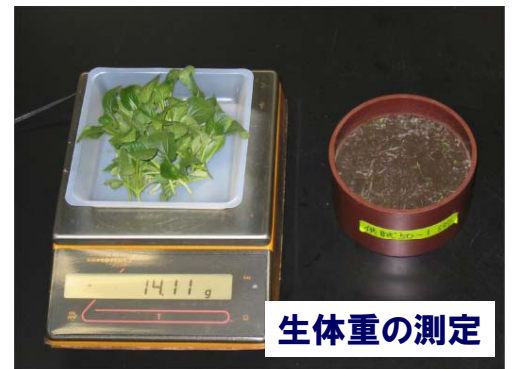
- ・発芽調査 ……栽培期間中に2～3回発芽率を調べます。
- ・生育調査 ……葉長を計測します。また、栽培終了時に地上部を収穫して生体重を測定します。
- ・生育状態調査……栽培期間中に異常症状が見られないか観察します。



葉長の計測



栽培終了時の生育調査



生体重の測定

総合判断

これらの調査結果から、肥料が植物に害を与えないか総合的に判断します。

もし、植物に対する害のある場合には流通、販売はできません。STOP

